



青年時代

第2回 「ブラジルのクラシック音楽を聴く会」 コンサート

天才作曲家

H・ヴィラ-ロボスから ブラジルとの交流を開く

～野性的で多様性に満ちた音楽を確立した南米の巨匠～

H・ヴィラ-ロボス (H·Villa-Lobos)

■ギター独奏：弘井 俊雄

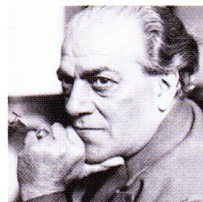
ブラジル民謡組曲より「マズルカ」他
12の練習曲より第1番、第11番、第12番
5つの前奏曲より第1番、第2番、第3番
カデンツァ～〈ギター協奏曲〉より

■ソプラノ独唱：松永 栄子
ピアノ：阪本 朋子

モヂーニャとカンソオンより「サントス侯爵夫人のルンドウ」他
セレスタスより「欲望」「飛行」他
ブラジル風バッハ第5番

■ピアノ独奏：四柳 由恵

赤ちゃんの家族 第1集より
苦悩のワルツ
ブラジル風バッハ第4番より



晩年時代

Heitor Villa-Lobos
(1887～1959)

ブラジル出身の作曲家。独学で作曲を勉強し、クラシックの技法にブラジル独自の音楽を取り込んだ作風で知られる。ヴィラ-ロボスは、南米のみならず、20世紀を代表する作曲家の一人である。また、多作家としても知られ、そのおびただしい作品数は20世紀最大とも言われる。

「ブラジルにおける ポルトガルとフランスの確執」

■講話：田所 清克（京都外国語大学教授）

D・ミヨー (Darius Milhaud)

■ソプラノ独唱：高丸 真理
ピアノ：阪本 朋子

黒人女の歌
トロバドールの3つの歌

2010.5.2 SUN

(開場) 13:00～ (開演) 13:30～

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

主催：「ブラジルのクラシック音楽を聴く会」

後援：(財)日伯協会、ブラジル民族文化研究センター、大阪音楽大学幸楽会

協賛：宝塚メディア図書館

入場料：3000円(全席自由) ※未就学児の入場はご遠慮下さい

チケット取扱い

◎芸術文化センターチケットオフィス **0798-68-0255**
(10:00AM～5:00PM / 月曜休み ※祝日の場合翌日)

1. 電子チケットぴあ予約電話：0570-02-9999
2. Pコード：349-900
3. @電子チケットぴあ <http://pia.jp/t/> (※PC・携帯電話共通)
4. 取り扱い店舗：チケットぴあ店舗/ファミリーマート/サークルK・サンクス

2008年に「移民100周年」が過ぎたブラジルと日本は、遠くて近い国と言われています。ブラジルといえば、リオのカーニバル、サッカー、コーヒー、サンバ、ボサ・ノヴァ…。そして、現在、ブラジルはめざましい経済発展を遂げ BRICs の1つとして世界をリードしていく国と注目されています。ところが、残念なことにブラジルの文学、美術やクラシック音楽のほとんどが日本では知られていません。先住民の文化やポルトガル、アフリカ、そしてフランスなどさまざまな異文化を融合しながら発展してきたブラジルには、エネルギーギッシュな中にも哀愁を感じさせる、素晴らしいクラシック音楽があります。その代表が、ブラジルの大自然と民族を音楽で表現し、多様な世界観を20世紀前半に先駆けた天才作曲家「H・ヴィラ-ロボス」です。

出演者



弘井 俊雄(ギター)

Toshio, Hiroi

「第11回ミラノ国際ギターコンクール」において金メダル受賞後、イタリア、ドイツ、スペイン各地でリサイタルを行う。ローレンシャン・カルテット(米)やニュージーランド・カルテットのコンサート・ツアーにソリストとして参加するなど国内外で活躍している。「音色において、技術において、そしてその誠実で緻密な音楽性において、弘井俊雄は真に日本を代表するギタリストである」(評論家・濱田滋郎)



田所 清克(講話)

Kiyokatsu, Tadokoro

国立フルミネンセ大学留学(2カ年国費留学)後、京都外国語大学大学院修了。現在、京都外国語大学ブラジル・ポルトガル語学科教授。専攻はブラジル文化、民族地理学を基盤としたブラジル学。ブラジル民族文化研究センター主幹。大阪府外国人相談コーナー顧問。



四柳 由恵(ピアノ)

Yoshie, Yotsuyanagi

大阪音楽大学附属高校、大阪音楽大学音楽学部ピアノ科卒業、同専攻科修了。松井克之、朝比奈町子、安川加寿子、ヤン・ホラク氏に師事。卒業演奏会出演。石川県ピアノ協会演奏会、ジョイントコンサート、サロンコンサートなどに出演。現在、石川県立翠星高等学校、石川県立中央高等学校の非常勤講師を務める。大阪音楽大学幸楽会石川県支部長。



畑 由美子(プロデュース・解説)

Yumiko, Hata

大阪音楽大学作曲学科楽理専攻卒業。村松民子氏指導のもとH・ヴィラ-ロボスを研究。1997年より西宮さくらFM放送の音楽番組スクリプターを務める。2008年「ブラジル移民100周年記念コンサート」(青山音楽記念館)をプロデュース。現在、宝塚メディア図書館にて音楽講座を開講。日本ヴィラ=ロボス協会会員。「ブラジルのクラシック音楽を聴く会」代表



松永 栄子(ソプラノ)

Eiko, Matsunaga

幼児期を南米チリのサンティアゴで過ごす。高校在学中に全日本学生音楽コンクール声楽部門で優勝。ミシガン大学音楽学部声楽演奏家コース、およびウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科を卒業。ジュネーブ国際声楽コンクール入選、リオ・デ・ジャネイロ国際声楽コンクールにてヴィラ=ロボス賞(ヴィラ=ロボスの歌曲の最優秀演奏者に対し与えられる賞)を授賞。日本をはじめ、アメリカ、ヨーロッパ、南米など各地で活躍。



高丸 真理(ソプラノ)

Mari, Takamaru

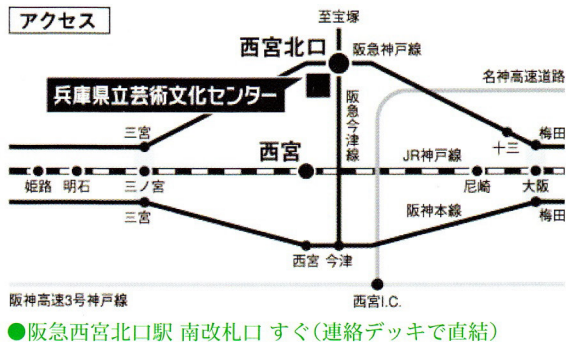
大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。樋本栄氏に師事。昭和56年度文化庁芸術家国内研修員。オペラや合唱におけるソプラノ・ソリストとして活躍。1995年よりブラジルにて音楽活動を行う。スラムの子供支援が評価され、ブラジルのロンドリーナ市から親善大使の称号が贈られる。2004年度西宮市まちづくり賞受賞。西宮市文化振興財団理事。



阪本 朋子(ピアノ伴奏)

Tomoko, Sakamoto

大阪音楽大学卒業。同大学院オペラ研究室に所属、主にオペラ・歌曲・合唱等の伴奏者として活躍。また室内楽、器楽等のアンサンブル奏者としてアーカディ音楽祭(米)、「ニューヨーク・カーネギーホールリサイタル」に出演。1987年よりウィーンに留学、国立歌劇場の練習伴奏を務める。現在、芦屋女子短期大学教授。大阪音楽大学大学院講師。



宝塚メディア図書館
3つのアートスクール
(年齢、経験、知識・技術を越えて学ぶ)



宝塚メディア図書館では、約33,000冊の芸術・科学の専門書を無料で公開。またその貴重な資料を活かして、映像・写真・音楽を軸に、仕事や毎日の暮らしに生きる「表現」を学ぶスクールを併設しています。週末には幅広い世代が集い、興味や好奇心のある分野について、優れた講師の授業を受けながら作品作りを楽しんでいます。

映 写 音

IMI/グローバル映像大学
<http://iminet.ac.jp>

写真表現大学/OICP写真学校
<http://iminet.ac.jp/photo>

デジタルサウンド講座
<http://iminet.ac.jp/dss>

公開講座・学校のカリキュラム・イベントなど、詳しくはウェブで!



隔週木曜日開講 | 講師: 畑 由美子

「こんなに面白い!クラシック音楽」~音楽家は何を表現したかったのか~

講座内容や開講スケジュールはこちらから

<http://medialib.jp/culture>